

表3 『生物医学倫理学の諸原則』における徳論の位置変化

1版 1979 → 2版 1983	3版 1989	4版 1994	5版 2001	6版 2009 → 7版 2012
第8章 理想、徳、正直	第8章 理想、徳、良心	第8章 専門職の生活における徳と理想	第2章 道徳的性格	第2章 道徳的性格
1理想	1道徳的理想 1) 卓越し称賞に値する行為 2) 聖者と英雄 3) 義務と義務以上のもの 4) その他の理想			
2徳と性格	徳と性格 1) 徳の概念 2) 徳の特別な位置 3) 徳と原則との両立可能性		1道徳的な徳 1) 徳の概念 2) 徳の特別な位置	1道徳的な徳 1) 徳の概念 2) 徳の特別な位置
	4) 専門職倫理における徳の役割 5) 道徳的熟慮における徳	1専門職の役割における諸徳 1) もろもろの役割と実践における諸徳 2) さまざまな専門職モデルにおける諸徳	2専門職の役割における諸徳 1) 役割と実践における徳 2) さまざまな専門職モデルにおける諸徳	2専門職の役割における諸徳 1) 役割と実践における徳 2) さまざまな専門職モデルにおける諸徳
				3ケアの徳 1) ケアの倫理の起源 2) 伝統的理論への批判 公平への挑戦/関係と感情
		2 焦点になる4つの徳 1) 思いやり 2) 識別力 3) 信頼に値すること	3 焦点になる5つの徳 1) 思いやり 2) 識別力 3) 信頼に値すること	4 焦点になる5つの徳 1) 思いやり 2) 識別力 3) 信頼に値すること
3誠実と良心		4) 誠実	4) 誠実	4) 誠実
↓ 2版 3良心的行動	3良心的な人格と行動 1) 良心の本性 2) 道徳的正当化における良心の役割 3) 良心的反対	3良心 1) 良心の本性 2) 道徳的正当化において良心に訴えること 3) 良心的反対	5) 良心的であること	5) 良心的であること 1) 良心と良心的であること 2) 良心的拒否
			4 道徳的な徳と道徳原則との関係	5 道徳的徳と行動指針(7版欠*) 1) 道徳的な徳と道徳原則との関係 2) 徳のある道徳的行為者は何をするか?
		4 道徳的理想 1) 義務以上の行動 2) 通常の基準から義務以上への連続性	5 道徳的理想 ・義務以上の行動 1) 義務から義務以上への連続性 ・厳格な義務から最高の理想への連続性 ・生物医学倫理における理想の位置	6 道徳的理想 1) 義務以上の行為 2) 義務から義務以上への連続性 3) 生物医学倫理における理想の位置
		5 道徳的卓越性 1) 道徳的卓越性の価値と位置 2) アリストテレス的な諸理想 3) 高められた道徳的卓越性: 聖人と英雄 4) 臓器提供の英雄の申し出	6 道徳的卓越性 1) 道徳的卓越性の位置 2) アリストテレス的な諸理想 3) 例外的な道徳的卓越性: 聖人、英雄、その他 4) 生体臓器提供と組織提供	7 道徳的卓越性 1) 道徳的卓越性の位置 2) アリストテレス的な諸理想 3) 例外的な道徳的卓越性: 聖人、英雄、その他 4) 生体臓器提供と組織提供
	4 結論	6 結論	7 結論	8 結論

\* 7版では、5 道徳的徳と行動指針の内容が第9章道徳理論のなかに移され、この章に「徳の理論」という節が新たに設けられ、ハーストハウスの批判に対しても応えている (p.380)。徳倫理学からの批判を一貫して重視していたことがうかがわれる。